

部会レポート

里芋料理に舌つつみ

「卒業生を招いて料理を楽しもう」という催しが10月24日、カレッジ調理室で開かれ、遊志の会（食文16期生）の14人がゲストとして参加。19期生と一緒に「里芋とイカの炊き合わせ」と「里芋と揚げ茄子のみぞれ煮」に腕を振りました。久しぶりに白井操先生にお会いし、在学当時を思い出して大変感激。



「レシピを良く見て！」と白井先生に注意されながら、「この味付けは？」「この切り方は？」など、おしゃべりを楽しんで一品を仕上げました。

学習室に移り試食会。「里芋の天ぷらがうまかった」など和やかに話が弾み、このあと、料理教室、豆腐づくりなど「遊志の会」の活動を紹介しました。この催しは、16期まで「大切な人を招いて」というタイトルでしたが、いったん途切れ、今回復活したものです。16期、19期ともに、「今後とも協力して活動していきたい」と話していました。

＝写真は末盛十二(食16)撮影 (遊志の会 加藤武久)

広陵小で里山学習

和楽会が管理する「かがやきの森東地区」（北区）で10月21日、近くの広陵小3年生4クラス128人の里山学習が実施されました。自分を取り巻く自然現象・環境に興味と関心を持ち、どうすればいつまでも健全な状態を保つことができるかを考え、



のこぎりで枝を切る子どもたち

行動することを目的としています。朝9時、各クラスに5～6人の和楽会スタッフが付き添い学習スター

ト。内容は①葉擦れ・鳥・虫などいろんな声を聞く。②堆肥の中で生きる虫・微生物を観察。③杉の切り株を使って、樹木の年輪を調べる。④里山林の整備作業や樹木の伐採体験などです。

午後は学校へ戻り、教室で垣内講師から「植物の子孫繁栄戦略」の話を聞きました。紙で種子の模型を作り、風によってどう飛ぶか、生息範囲がどこまで広がるか、の実験をしました。

(広報・北村洋)

つい先日まで「夏日だ 残暑だ 秋が恋しい！」

♪♪小さい秋を求めて♪♪

と、猛暑の居座りにうんざりしていた日本列島に、土の帳尻合わせをするかのごとく、突然やってきた冬の様相。山の木々たちもちょっと慌てた衣替え。ひょっとすると今年の秋は見逃すくらい“小さい秋”になるかも、と11月20日に行われた秋の森林浴。前日は「11月としては初めて六甲にも初雪」と報じていたメディアに、秋はすでに名残かとの思いを抱きつつ山頂へ。雪こそ残っていなかったが（実際には2か所ほど薄く残る雪あり）やはり今年“小さい小さい秋”しかやってこないらしい。

夏の台風の影響で不通となっている六甲ケーブルに変わる代替バスで山上駅へ。ススキが揺れる六甲山ゴルフ場を抜け、六甲山ホテル裏から北に下る“シュラインロード”へ入る。

このコースは六甲にいくつかある“カタカナ文字コース”のひとつで、昔からの行者たちが通ったと伝えられている静かな道。コースの両脇にぼつぼつと佇む30体を超える石造の野仏に、いにしへの行者の姿を重ねて歩く。

午後の陽射しに赤く染まる“六甲の紅葉”に、ひとときの幸せを楽しい仲間たちと共有し、こころの洗濯をしながら、ひとつぼつんと残った柿の実を横目に有馬口に降りつく。お疲れさんでした。

(菅田忠志・生11)



あ～ら不思議！マジックの祭典

第11回マジックの祭典が11月2日午後、たんぼぼの家ホールで開かれ卒業生・在校生・家族ら150人が不思議ワールドを楽しみました。森田明郎大会委員長の挨拶のあと、3期から20期までの32組37人が華やかな衣装姿で自慢のネタを披露。(写真)



ハンカチやひも、カード、花束、パラソルを使った伝統的なもの、お笑いと手品をからませたものなど、次々飛び出す妙技に客席からは拍手が絶えず、大いに沸いた3時間でした。「年々、動きのあるマジックが増え、華やかになっていますね」と指導者の空閑義郎さんは満足そうでした。この祭典はK S Cマジッククラブ（卒業生）とマジック同好会（在校生）が、腕を磨き練習の成果を発表する場として毎年、開催しているものです。

(広報：南形徹)

コーロ20周年を歌う

混声合唱団コーロK S Cの第8回定期演奏会（創立20周年記念演奏会）が11月4日、神戸文化ホールで開催され、大ホールを埋めた1700人の聴衆を魅了しました。

皆木信治先生の指揮で、ハイドン「ミサ・プレヴィスN07」「行け、我が想いよ 金色の翼に乗って」「流浪の民」「花は咲く」など、宗教曲や愛唱歌を170人の団員が高らかに歌いあげました。

原語で歌うことの難しさから敬遠されがちな宗教曲も練習の成果が十二分に発揮され、「ハレルヤ」の美しいハーモニーが客席を包みこみました。

団員の皆さんの歌に込める想いが唱歌メドレー「ふるさとの四季」には最高となり、客席からも「例年よりすばらしかった。歌の世界に引き込まれた」との感想が聞かれました。

今回は、創立20周年を祝って新調した団旗



が披露され、寄藤忠彦団長は「団旗中央の白い羽はさらなる飛躍を表しています。元気なシルバー合唱団として、ボランティア活動を続けたい」と話していました。(広報委員・水上桂子)

コーロが20周年パーティー

コーロK S Cは、結成20周年の祝賀パーティーを12月8日、相楽園会館で開催。1～20期生150人が20年をつづる映像を見ながら、歌と共に歩んできたコーロを振り返りました。荻原允子さん（音1）は、「脳梗塞を患ったけど、歌うこと、ボランティアができることが生き甲斐になっている」と。最後に、全員で「あの素晴らしい愛をもう一度」を歌って散会しました。(広報・井口久美子)

戦争の語り部活動をビデオに

糀台小（西区）で12月20日、学習支援委員会語り部チームによる「戦争と平和学習」が行われ、渡辺寛治さんら5人とビデオ記録係2人がスタッフとして参加しました。対象は6年生児童70人。「神戸大空襲」の体験を中心に、B29爆撃機による焼夷弾攻撃・焦熱地獄からの脱出・田舎への疎開の様子などが詳細に語られました。子供たちは真剣に聞き入り、平和な時代に生きる大切さを実感したようでした。ビデオ撮影は、「戦争の語り部活動を残そう」と〈わ〉が今回から始めたものです。

(広報・北村洋)

ジョイラックに講演会開催

グループ〈わ〉は、1月15日のジョイラックデーに、学習室1、2で下記の講演会を開催します。

①みんなで支える介護保険（10時30分～12時）

講師は、神戸市介護保険事業計画担当係長・武藤剛氏と在宅支援係長・奥谷由貴子氏。介護保険申請のポイントや、介護度に応じたサービスなど、介護保険の仕組みについて学びます。

②第2回福祉ボランティア大会（13時～16時20分）

福祉部会の8グループ（滝谷ホーム・明生園もみじ会・さおり、たまも・信愛ホーム介助・一寸奉仕・クレヨン・あんだんて・エンジェル支援の会）を映像で紹介したあと、明生園もみじ会・一寸奉仕・クレヨン・あんだんてが、歌唱や大道芸、手品や小咄、朗読を披露、会員の交流を深めます。会場前廊下には、活動風景の写真なども展示します。入場無料。問い合わせは、加藤勇治・福祉部長（078-743-8101）まで。